

第 1 回 教育委員会会議録（要点）

日 時 場 所	平成29年1月5日（木）午前10時00分 庁舎第2別館11階 特別会議室2号
出席委員	委員長 奥本 忠孝、委員 藤井 信子、委員 吉良 佳世、 委員 篠宮 博幸、教育長 高橋 実樹
欠席委員	なし
会議に出席した者の職・氏名	事務局長 新居田 昌彦、総務課長 林 秀樹、 学校教育課長 益田 哲郎、社会教育課長 八木 輪吾、 文化振興課長 真部 春樹、体育振興課長 神野 秀夫、 学校給食課長 丹下 義人、総務課長補佐 安藤 透水江
傍聴人	一般 1名
議 題	第1回 (1) 議案第1号 今治市公民館運営審議会委員の委嘱について (2) 議案第2号 今治市スポーツ推進委員の委嘱について (3) その他
奥本委員長	傍聴について確認する。
一各委員一	(異議なし)
奥本委員長	異議なしと認め、傍聴を許可する。 (傍聴人入場)
奥本委員長	午前10時00分、開会を宣す。 平成28年第16回、第17回会議録を承認してよいか問う。

—各委員—

承認する。

奥本委員長

会議録の署名委員に吉良委員、高橋教育長を指名する。教育長の報告を求める。

高橋教育長

あけましておめでとうございます。今年はとり年。運気も人もとり込める今まで頑張ってきたものの成果が現れる年であるとも言われております。

チーム今治市教育委員会として組織的・共同的に諸課題の解決のため取組んでいきたいと思っております。

それでは、2点ご報告いたします。

初めに12月議会の報告をいたします。

私のほうは、達川雄一郎議員と谷口芳史議員の2名から一般質問がありました。

達川議員の質問は、「交通対策について」の「子ども達の安全確保について通学路をどのようにしているのか」の質問でございました。

本市では、3点ございます。

- ① P T Aや地域の皆様、関係諸団体からなる見守り隊の方々が熱心に活動を行って頂き、車や自転車の通行量及び運転の状況などを把握しながら、状況に応じて的確に交通安全指導を行って頂いていること。議会ではお伝えしておりませんが、いつも交通安全指導をしてくださっている地域の方と子ども達のやりとりを実際に拝見して、地域の方がいつも子ども達のことを本当に気にかけてくれていることが感じられ、本当にうれしく思っております。
- ② 通学路の安全確認や危険箇所対策について、警察、道路管理者、P T A、教育委員会が現地で合同点検を実施、ハード面での対策を行い、出来るだけ安全で安心な通学路の確保、整備に努めていること。
- ③ 学校、家庭、地域が連携し、関係機関に協力をお願いしながら、保護者、家庭への啓発と、児童生徒への交通安全に対する意識の高揚、交通マナーの向上に努めていきたいこと、何よりも、「子どもたちの命を守りきる」ことが最も重要であり、危機感を持って対応していきたいこと、同時にしっかりと、子ども自身が自分

の命を大切にし、守りきる態度を育成したいと、答弁しました。

谷口議員からは、「児童生徒の読書について」でございました。

1点目は「現状の取組みについて」です。

- ① 「中学生は一冊も読まない生徒の割合が6割になっているというのが今治及び家庭での現況について」質問がありました。

これに対して、そのような児童生徒はいないこと、市内の全小中学校において読書活動をする時間を教育課程に位置づけていること、また、家庭では読書の習慣が身につけていないことも懸念されますので、家庭と学校との連携を推進してまいりたいと答弁しました。

- ② 「学校での読書活動や読み聞かせなどの本に触れる機会は」と質問がありました。

これに対して、朝の会の時間に読書活動を設定したり、読書ボランティアや教師、委員会の児童が読み聞かせを行ったり、集会活動や校内放送で本の紹介を行ったりするなど、各学校で設定時間や方法にちがいはありますが、継続的に実施していることを答弁しました。

- ③ 「司書教諭や、司書資格を持った先生がどのくらいの時間を読書指導に当てているのか」と質問がありました。

今治では、全ての小中学校に司書教諭を配置しており、週に1時間から3時間程度読書指導を行っていること、多数の学校で独自の多読賞を、教育委員会では学期ごとに「がんばる子ども応援賞」のなかで「多読賞」を選らんで表彰していること、県教育委員会では年に一度、読書部門の「えひめっこピカイチ大賞」の表彰を行うなど、子どもの読書活動の励みになる環境を整えておりますと答弁いたしました。

小学校卒業時にアルバムと同時に「読書ノート」を送り、一層読書に親しんでくれることを望んでいると答弁しました。

- ④ 「学校司書の配置を検討してほしい」と質問がありました。

今回の全国学力学習状況調査では、「読書が好きですか」に対する回答で、4段階の一番上に当てはまる全国平均より今治市では、小学生で1.6ポイント、中学生で8.7ポイント高くなっており、今後も、より活発な読書活動の推進に向けた対策をとっていききたい、全ての小中学校に司書教諭を配置しており、学校司書については、児童生徒の実態に即して考えたいと答弁いたしました。

読書も大事ですが、いじめと学力低下対策に力をいれております。これらのバランスをとりながら、対策を考えていききたいと思っております。

2点目は今年度の主な行事です。1月8日、市内中心部及び関前成人式、1月22日、今治市PTA研究大会、2月3日、少年式、2月9日、理科教育研究会、2月20日、劇団四季「こころの劇場」、今年は「王子とこじき」上演、2月25日、俳句キッズわくわくコンテスト、3月17日、中学校卒業式、3月23日、小学校卒業式、3月24日、小中学校修了式となっております。

以上でございます。

新居田教育委員会
事務局長

私のほうからは、山岡健一議員の「今治市立小中学校の給食費について」質問がございました。

義務教育課程における給食費の地域間格差是正についてご質問を頂きました。

これについては、6月議会でも野間議員より同様の質問を頂きました。6月議会の質問の趣旨は、義務教育課程での給食費について平準化すべきではないかという内容でした。

今回の山岡議員も質問のテーマは同じですが、質問の趣旨が少し変わりました。小中学校義務教育課程9年間の1人当たり給食費の格差を一番安い給食費をベースに、小学校185回、中学校180回の実施回数で試算すると、朝倉5,500円、玉川19,350円、波方1,100円、大西16,500円、菊間11,100円、大島24,750円、伯方16,500円、大三島11,100円、関前52,350円と給食費の格差が生じていること、子どもが2人、3人ではそれぞれその倍となるということです。

6月議会では、一番安い給食費で平準化して試算した年間経費は、小学校 393 万円、中学校 110 万円、計 503 万円が必要との答弁をいたしました。

これについて、再度、山岡議員より、「子育て世帯に関する支援、行政が行える可処分所得の上昇の施策として、再度考えを聞きたい」と質問されました。

これに対しては、現在一食あたりの給食費の単価が、小学校 220 円から 255 円、中学校 250 円から 275 円となっていること、この背景には、地元食材の価格変動を勘案した独立献立や物資流通の事情がございます。最も低い給食費負担の児童生徒の割合でいいますと、小学校 74%、中学校 85%ということで、指摘された格差は解決しなければならない課題と認識していると答弁いたしました。

現在の取組みとしましては、給食費統一に向けた使用頻度の高い食材を、調理場で個々に調達していたやり方を、全市、陸地部、島嶼部のエリアでの入札による調達に方法に見直し、毎年、最適数量の一括発注や選定対象の食材範囲をひろげ、購入単価の調整を段階的に進めています。

具体的には、27年度入札対象品目、年間使用食材で 84 品目、学期使用で 156 品目、28年度は、それぞれ 121、186 品目となっております。

来年度はさらに 80 品目程度を追加する計画です。

今治市の学校給食は、地産地消、食育の推進を基本に、各調理場ごとに特色あるメニューづくりに取り組んでいますので、その実現のためには、食材の安全確保や質の確保はもとより、適正価格による安定した供給が不可欠であり、引き続き食材の調達方法の改善を行っていききたいと答弁いたしました。

これに対して、再度、価格統一について確認したいとの質問がございましたが、特色あるメニューづくりを継続するのであれば、まず調達価格の改善が優先され、それが行われた時点で、学校給食運営審議会等の意見を聞きながら判断したいと答弁を行いました。

以上です。

奥本委員長

〈議題審議〉

議題の審議に入る。「議案第 1 号 今治市公民館運

八木社会教育課長	<p>「審議会委員の委嘱について」説明を求める。</p> <p>—「今治市公民館運営審議会委員の委嘱について」説明—</p>
奥本委員長	承認してよいか問う。
—各委員—	承認する。
奥本委員長	「議案第2号 今治市スポーツ推進委員の委嘱について」説明を求める。
神野体育振興課長	—「今治市スポーツ推進委員の委嘱について」説明—
奥本委員長	承認してよいか問う。
—各委員—	承認する。
奥本委員長	次に「その他」を議題とし、説明を求める。
八木社会教育課長	「成人式、少年式について」説明。
真部文化振興課長	「第65回県展今治移動展について」説明。
益田学校教育課長	「今治市の特別支援教育について」説明。
奥本委員長	午前10時37分閉会を宣す。

以上、会議の次第を記し、その相違ないことを証するため署名する。

吉良委員 _____

高橋教育長 _____